



著者紹介

1904年、長崎県に生まれる。小学校時代より貧苦との闘いで、中退し、キャラメル工場をふり出しに、様々な職業を転々とした。大正15年、一度目の結婚に失敗したあと、同人雑誌「驢馬」の同人であった窪川鶴次郎と結婚、と同時に「キャラメル工場から」を処女作に文筆活動に入る。

昭和37年、短編集「女の宿」にて女流文学賞を受賞。その他主な作品に、「レストラン・洛陽」「くれない」「体の中を風が吹く」等

検印を廃す

あとに生きる者へ——わが心の祈りをこめて——

昭和四十四年二月一日 第一刷

定価三九〇円

著者 佐多稲子
発行者 小沢和一

発行所 株式会社 青春出版社

東京都新宿区若松町73番地
振替番号東京九八六〇二番
TEL (203) 五一三一〇五

★この本をお読みになったご意見ご感想を編集部までお寄せ頂ければ幸いです。

印刷・堀内印刷 製本・石毛製本

あとに生きる者へ

佐多稲子

若い人たちに

若い人たちに、おmoiをこめて、この書をおくります。

この本を手にとって下さる若い人たちの、何かを求め、何かを探る期待に、少しでもこたえることができるなら嬉しいとおもいます。けれども私の書くものも、あるいは回答ではないかもしれないのです。人それぞれの求めるものに直接の回答を出し得るとおもう自信は私にはないのです。

ただ多くの若い人たちと同じように、私の若い日もまた、探し求めながら、その求めるものが何なのかさえ知らずに、迷い歩いたものなのです。

ふりかえれば、その迷いの中に若い日の意味があったとおもいます。

そんな若いときをいとし、とおもいます。

今の若い人たちの日々に、わが思いを重ねるのもその気持からです。重ねたおもいがどれほど対応し得ているでしょう。実人生に歩みをふみ出した若い人たちの求める心に、何かの手がかりになり得るならば、とだけおもいます。

若い人たちに限りなき期待をこめて。

佐多稲子

目

次

I 章 あなたへ伝えておきたいこと

1 自分を決める愛の自覚——幸福なあり方、不幸なあり方……………15

女が妻になる日の希^{のぞ}み 無かったものから生まれる能力 ふかく生きるよき妻

2 充ちていく愛、失われていく愛——職場に生じる湿った感情……………20

歯がゆく悲しい立場 秘めていた関係の破綻^{はたん} 愛を結婚に結びつけない悲しみ

3 うちにひそむ激しい本性——男と女の性本能の差異……………25

愛の習性 性の能動は男の本性 女性が苦しむ愛の真実 夫が苦しいのは「妻の悲しみ」 否応をいわぬ関係 自分に許す女の苦しみ 女の無意識な欲情

4 傷つく人間の弱さの自覚——愛は激しくきびしい……………37

女に限られて言われる言葉 涙の中のみ存在 自分を追い込んでいく官能の誘惑 環境に慣ら

された低さ

5	生き生きとした嫉妬の方法	——愛を失わないために……	45
---	--------------	---------------	----

愛の変型という本質

6	私にとって真剣な苦しみ	——女はどう生きていくか……	47
---	-------------	----------------	----

わたしは不義の子 “私自身に生きよう”の覚
悟 私を支えた根底の力 三つの姓の同居

II 章	あなたに知ってもらいたいこと	——	55
------	----------------	----	----

1	あとに不仕合せを感じるとき	——自分の何を見つめるか……	57
---	---------------	----------------	----

誰にもあるこの瞬間 いつ失敗と気づくか
それを疑う前に

2	最初の結婚の不幸な出来事	——目に見えぬ運命の糸……	63
---	--------------	---------------	----

忘れられぬ友人の奇記 後見人Nの存在 何
ひとつない要因

3	夫と妻の愛の求め方	——不安の中で求め合う結合の条件……	68
---	-----------	--------------------	----

結婚生活の危機 個性と個性の探り合い 三

年目の愛の充実 己れを見せ合った再確認

胸におかねばならないこと

4 自分の弱点から抜けだす方法 — 明るく強く美しくなるために …… 78

年上の妻の知恵 自分をみとめさせる法 夫

に必要ないたわりの心 悩みを解きほぐすカギ

5 あらゆる場所で大切なこと — 入り乱れた因子からの追求 …… 87

精神的な女の特性 あらゆる場所で大切なこと

大人の知恵に支えられた関係

6 家庭のいとなみと考え方 — 幸福を求めるあたらしい愛情 …… 93

あたらしい家庭のあり方 だれでも古さや弱さ

がある 愛情の中にある感情のエゴイズム

自分の意地悪さ 愛は最も嘘のないものである

喜びと悲しみを分け合う生き方

Ⅲ 章 あなたが求めてほしいこと ————— 105

1	何かをしたいという充実感——人間の限りなきこの希求	107
	幸福という字にある悲しみ	
	幸福はどうつかむか	
2	感情から理性を養うために——恋愛によって人間を知ること	113
	どんな恋愛をするか	
	恋愛は人生の糧になる	
3	無意識の女の心のおぶなさ——だいたいの男にある危険な衝動	119
	自分自身のもの	
	人間の心は微妙に揺れ動く	
	自分をあざむく女のずるさ	
	危険に惹かれる衝動	
4	妻と夫の間にある怠惰——気づかなかった愛の悲劇	129
	妻への離別の決意	
	この妻の悲劇	
	深い不幸に気づくとき	
5	自分に何を求めていくか——真の意味を知り、役立てる	135
	働きながら学ぶ努力	
	自分の中に吸収すること	

6 友情は反省のおもいにこもる — 自己を高め合う尊さ……………139

おもいのこる友情 相手を厳しく認め合うこと
友情はいつ失われるか 男女の友情はどこに生
まれるか 必要な尊敬と理解 主観的になり
がちなとき 自分自身の生き方の中から

IV 章 あなたが生かしてほしいこと ————— 149

1 一度は通る人間と人間の間 — 新入社員のある方考え方……………151

実社会のきびしさを知ること あれやこれやの
手

2 人の心にふれる美しさ — 悩みながら人を悲し求める姿勢……………155

女がもっとも美しいとき ほんとうの女らしさ

3 自主的に考えるための自己形成 — 可能性はどこにもある……………158

生きる意味が解からないとき のびようとする
心 なんのために学ぶか 失敗をこわがらず

に

4 親と子の将来への悲願——世俗の塵の中で生きていくとき……………164

親は子に、子は自分の将来に
涙で詫びた息子
入試の発表の日

5 能動的に生きる意力——幸福をもたらす生き方……………169

美しくなる条件
肉体と精神のバランス
生き生きと発揮された能動美
人生の意味とのむ
すびつき

6 吸いよせる感覚と衝動——精神の成長より早い肉体の成長……………176

母十五歳の子
異性を意識する本能
本能か
らの精神的知恵
性病に犯された少女たち

7 生き生きとした母のあり方——自分に生きる最初の踏み出し……………183

強いられた苦痛に歪むとき
生きねばならない
母の自覚
生活に踏んまえた強さ
母が自分
から求めるとき
父のいない子どもの母
母

の欲求を社会的にしよう

V章 あなたに掴^{つか}んでもらいたいこと

1 私の歩んだ半生 — 自分の生活は自分でつくっていくべきである …… 197

中学生の父と、女学生の母 学校も中途の試験
忘れられない芥川龍之介の顔 ウソの履歴書
暗い気分を変えた震災 はじめての結婚 窪
川鶴次郎との本当の恋愛 芥川の妙な質問のナ
ソ 作家へのきっかけ 女房と作家という生
活の矛盾 離婚そしてふたたび

章扉カット・生澤 朗

I 章 あなたへ

伝えておきたいこと

相手に不安を感じるとき

誠実な夫たちは、自分の多情の習性^{しゅうせい}とたたかっているにちがいない。そのたたかいを援^{えん}けるのは妻以外にはないのだ。



1 自分を決める愛の自覚

——幸福なあり方、不幸なあり方

女が妻になる日の希^{のぞ}み

結婚は、人間の生涯の、たしかに大きなひとつの契機であり、決定でさえある。これは従来、妻は夫にしたがうものとされてきた封建的なときにあっても、夫の側でさえ、大きな問題であった。悪い妻をもらってしまふと、それは男の一生の不作、というような言葉があった。子どもが生まれなければ、舅姑との折合いが悪ければ、その他いろいろの口実で妻を追いつ出すことのできた夫の立場からさえ、なお、悪妻は一生の不作、といわれる言葉があったのは、結婚という人間同士のいとなみが、いかにその人間の生活に作用したかを語ってしよう。

結婚はたしかに人間生活の大きな問題である。が、男性にとっては、たとえ一生の不作という言葉があったにしろ、結婚そのものが男性の一生の目あてではなかった。女の子に、大きくなつて何になるのかと聞くと、お嫁さんになるの、という答えがあったが、男の子は、お婿さんになるの、とは言わなかった。女の子は、お嫁さんになるの、という答えがたいいの場合決まっ